

今年も「水の週間」シンポジウムに参加しましょう！

第27回「水の週間」シンポジウム
テーマは、『管内の市町と共に活かそう 地域資産・木津用水』

日時：8月5日（金）10:00～12:00

場所：小牧市公民館 講堂

主催：木津用水水管理対策協議会

【講師】 岡本雅美氏 日本大学法科大学院非常勤講師（環境法）



お問い合わせは、
木津用水水管理対策協議会事務局まで
0568-72-3911

教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問に
お答えしています。

Q1：「虫干し」「中干し」「土用干し」って、どういう事ですか？

A1：イネは、田植え後に快適な環境が続くと、ぐんぐん育ち、分けつが旺盛になり茎数が増えます。ただ、増えすぎると、栄養不足からお米の品質が低下します。そこで、茎数のコントロールと根の健全化のため、3日～数日間、水田から水を抜き、軽い乾燥状態にして刺激と変化を与えると、分けつをやめて約1ヶ月後に稲穂が出て花が咲き、実を付けます。この水田から水を抜いて乾かすことを「中干し」といいますが、夏の「土用」の頃に行うので別名「土用干し」ともいいます。（分けつ：茎から新しい茎が増えること）
土用とは、暦法の春夏秋冬の各季節末の18日間を「土用」といい、一般には、梅雨が明けた夏の土用に、カビや虫害を防ぐために、衣服・書物などを干す事を「土用干し」又は「虫干し、虫払い、夏干し」といいます。

Q2：「農業公園」ってよく聞きますが、どこにあるの？

A2：東海地方には、愛知県の安城デンパーク・蒲郡オレンジパーク・碧南あおいパーク、岐阜県の牧歌の里（郡上）・パスカル清見（高山）・美濃白川のふるさと館、三重県の伊賀の里モクモク手作りファーム・五桂池ふるさと村（多気町）・松阪ベルファームなど、90以上の施設があります。
施設の内容は、農業体験、食品加工体験（ウインナー造りなど）、郷土料理、宿泊施設など充実しています。みなさんも一度足を運んではいかがでしょうか。

編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局 refresh_noubi@tokai.nn-net.go.jp

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所（しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ）
（〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851）

犬山支所（〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201）
羽島支所（〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127）

【ホームページアドレス】

新濃尾農地防災事業所：http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/
農林水産省：http://www.maff.go.jp/ 東海農政局：http://www.tokai.maff.go.jp/

e-mailでも
お待ちしております！

リフレッシュ濃尾用水

【編集発行】
農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2005年7月 第7号

Topics!

7月2日、美和町内で、児童らとともに「田んぼの生きもの調査」を実施しました。

8月5日、小牧市公民館において、第27回「水の週間」シンポジウムが開催されます。

今年度もかんがい期間の終了にあわせて、10月から用排水路等の改修工事を開始します。

エコきっず達と田んぼの生きもの調査を実施！

7月2日、宮田用水土地改良区主催による「田んぼの生きもの調査」が美和町内で行われ、共同調査として参加した周辺市町のエコきっず調査隊に交じって、当事業所職員も応援に駆けつけ、約50人の児童らとともに田んぼの用排水路やあぜ道にいる生きものをつかまえたり、水質の調査を行いました。

タモ網やカゴ網でつかまえた生きものには、メダカ、フナ、ドジョウなどのほか、ヒルなど日常あまり目にするののない生きものもいて、身近にある自然を感じた一日となりました。



どんな生きものが
いるんだろう！？



大きなドジョウが
いったぞ！！



生きものの種類や
大きさを整理しました

エコきっず調査隊とは？

あまつしまの各教育委員会が主催する川をテーマにした環境学習団体で、昨年度は、美和・七宝・大治・甚目寺・蟹江・弥富の6町と津島市のあわせて7市町が活動しています。

川や田んぼなどで「生きもの調査をしたり」、「水質を調べたり」と体験活動を中心に楽しみながら身近な自然と環境について学びます。そして、どうすれば環境にやさしい生活ができるのか自分で考え、行動できる人（きっず）を育てることを目指しています。

詳しくは各市町の教育委員会へお問い合わせ下さい！



全員で記念撮影

“平成17年度の工事予定区間をお知らせします”

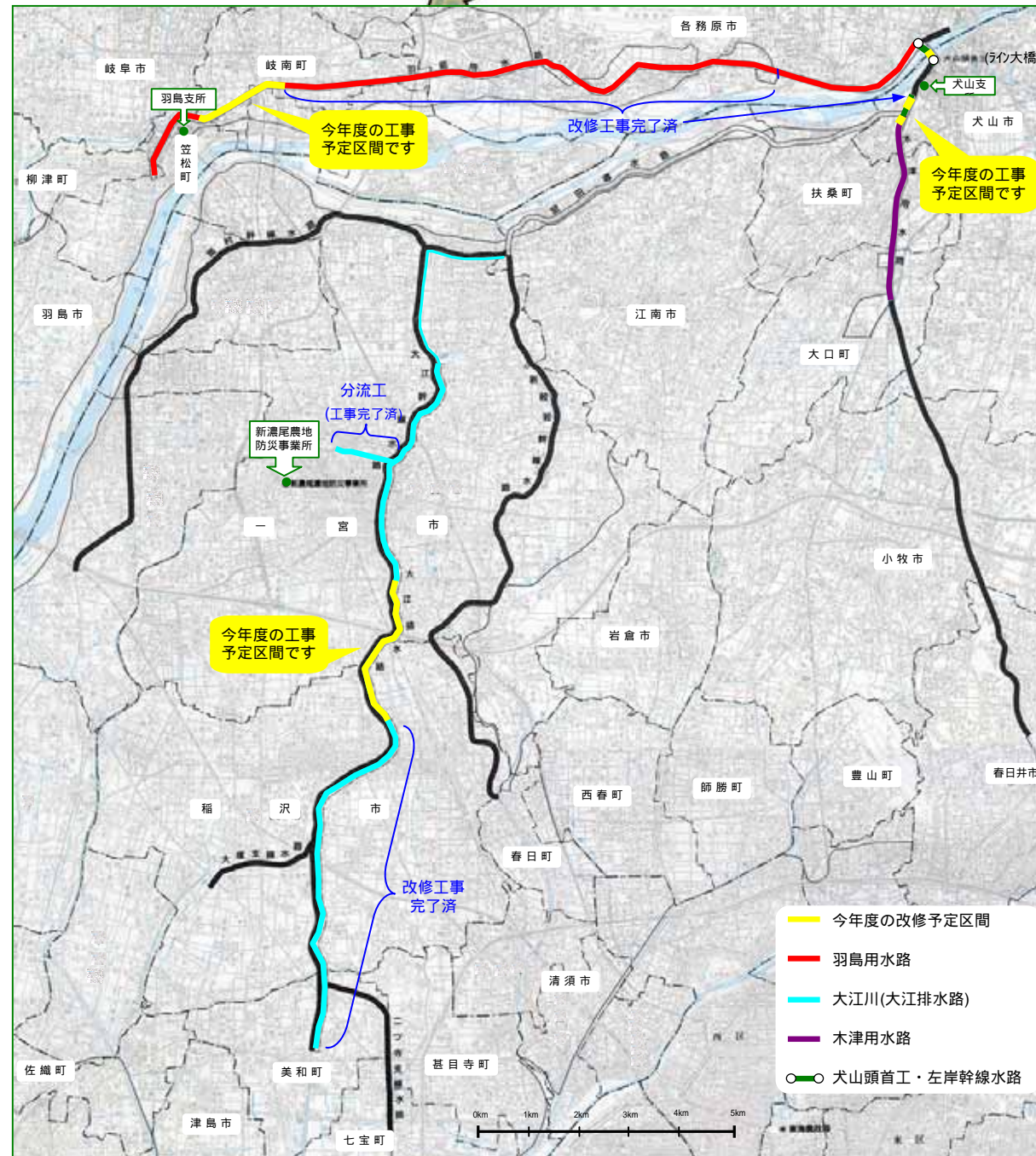


農林水産省新濃尾農地防災事業所では、用水路や排水路などの農業水利施設の改修工事を実施しています。今年度の改修工事は、右の地図に示す区間を予定しています。

工事は、主に10月から翌年3月にかけて実施する予定です。おいしいお米や野菜をつくるためのきれいな水を確保することや、用水路や排水路の周辺に住んでいる皆さんが安心して暮らせるように改修工事に全力を尽くします。

主な工事予定

- ・**羽島用水路の改修工事 約1.5キロメートル**
今ある水路をパイプ化して地中に埋設します。
- ・**大江川(大江排水路)の改修工事 約3キロメートル**
排水機能を元のように回復させるため、断面を改修します。
- ・**木津用水路の改修工事 約0.2キロメートル**
農業用水の水質改善のため、農業用水と家庭からの生活排水などの都市排水とを分離する工事を行います。
- ・**犬山頭首工の補修工事 1式**
頭首工本体の補修と水門の更新や左岸幹線水路の補修工事を行います。



羽島だより

6月12日(日)、【第9回 正木町あじさい祭り&ウォーク】に参加しました。

地元のみなさんの「あじさい音頭」などが披露された後、子供たちの写生大会を見ながら「あじさい街道」をウォーキングして、気持ちのいい汗を流しました。



【馬が見る風景(岐南町にて)】
笠松競馬の馬道は変わりませんが、羽島用水工事が改修されれば、用水路が埋設され、馬が見る風景も今とは少し変わって見えるかな？

大江川の生きもの



名前：ヌートリア
分類：げっ歯目 ニューリア科
原産地：南アメリカの中・南部
頭胴長：43～64cm
絹化した経緯：軍用の防寒用毛皮として飼育され、やがて野生化した

みんなのまわりにはどんな生き物があるかな？
よい子のみんなは自然を大切にしようね！



犬山だより

犬山頭首工の補修工事は、「頭首工の機能を回復すること」を目的に平成12年度～18年度(6回の仮締切)にかけて予定しています。工事は、河川内での作業となるため、洪水の危険が少ない非洪水期(10月～翌年5月までの8ヶ月間)に行います。

犬山頭首工は、農林水産省により毎日24時間休みなしで、管理を行っています。

主な出来事

鮎の遡上始まる

犬山頭首工には、左岸と右岸にそれぞれ魚道があり、頭首工管理所では鮎の遡上調査を行っています。今シーズンは6月から鮎の遡上が確認できました。

木曾川ウグイ開催中

犬山頭首工の上流で「木曾川ウグイ」が5月11日～10月15日まで開催されています。



大江川だより

尾張藩直営の宮田用水(水奉行制度)

江戸時代における尾張平野の用水建設・分水管理は、尾張藩が運営していました。強い権限を持たせた水奉行を設置し、日常の水管理・見回り、水位の変化や洪水対策、用水不足などの調整、田植えから稲刈りまでの情報管理といった仕事をやっていました。現在は同じような仕事を土地改良区(水士里ネット)が行っています。

尾張藩は明治時代に至るまで、たびたびの緊縮財政に見舞われたにもかかわらず、「四公六民」という年貢の徴収率を変えず、農民からの年貢の増徴を行いませんでした。

そのため尾張は、百姓一揆の発生したことがない地域として有名です。もともと、土地が肥沃だったこともありますが、こうした藩の緻密な水管理がその豊かさを支えていたのでしょう。

